

2018 全日本 F3 第 7 戦 第 8 戦 第 9 戦  
岡山国際サーキット  
2018 年 7 月 28 日(土)

予選

観客: 未発表

天候: 曇り

2018 年全日本 F3 選手権シリーズは、この岡山国際サーキットでの 3 連戦で、今シーズンの前半戦を終える。これまでの 6 戦を終えた時点において、坪井 翔が開幕戦から 5 連勝、2 位 1 回。ポールポジション 5 回、ファステストラップ 3 回を記録。現在、ポイントランキングトップで 66 点を獲得している。宮田莉朋は、前回の第 6 戦で F3 初優勝を飾り、2 位 4 回。ポールポジション 1 回、ファステストラップ 1 回を記録して 40 点でランキング 2 位につけている。土曜日の予選は、前日までの酷暑から気温、路面温度が下がり、宮田がベストタイムを叩き出して、開幕戦以来 2 回目、第 7 戦のポールポジションを獲得。セカンドベストタイムは坪井が叩き出して第 8 戦のポールポジションを確保した。トムスドライバーの 2 人は、両レースをフロントローからスタートする。



- 酷暑のコンディションのもと、木曜日から行われていた練習走行では、坪井 翔が全セッションでトップタイムを叩き出し、それに宮田莉朋が続いていた。
- 土曜日を迎えて、10 度近く気温、路面温度が低くなった。
- 1 セット目の新品タイヤでは、坪井がベストタイムを叩き出し、それに宮田が 0.01 秒差で続いた。
- 各車、2 セット目を装着して再度アタックを開始。予定していた計測 3 周目に宮田がベストタイムを叩き出すと、これに坪井が続くという展開。
- 坪井は、更にタイム更新を目指したが、コース上に 1 台のマシンがストップしてしまったため、予選が赤旗中断。そのままセッションは終了した。
- 第 9 戦のスタートポジションは、第 7 戦の結果によって決定する。

Driver	Car No.	Qualify for 5	Qualify for 6
坪井 翔	36	P2 1:22.395	P1 1:22.646
宮田 莉朋	37	P1 1:22.507	P2 1:22.656

天候	曇り 晴れ / ドライ	
気温/路面温度	気温 20-22度C	路面 39-41度C

坪井 翔 (36 号車ドライバー)



「路面温度が高い状況では、思うように走れていたのですが、今日になり、状況が大きく変化してしまい、うまく走れませんでした。セカンドベストタイムで第 8 戦のポールポジションを獲得できたのは、少しびっくりしています。それほど納得できていない走りでした。状況にうまく合わせるができなかった結果ですね。両レースともにフロントローからのスタート。第 7 戦は 25 周レースなので粘って前に出て、第 8 戦はポジションをキープしたいと考えています。ここ岡山は抜きにくいサーキットですが、二つ勝ちたいです」

宮田 莉朋 (37 号車ドライバー)



「金曜日までは、タイムアップするために克服しなくてはならない点があったのですが、コンディションが変わったことで克服できました。結果としてベストタイムをマークして、開幕戦以来となるポールポジションを獲得できて、とても嬉しいです。1 セット目のタイヤでは、ちょっと失敗してしまったので、それがなければポールポジションを二つ獲れていたかもしれません。台風が接近していますが、明日の決勝レースは、できればドライでレースをしたいと願っています」

吉武 聡 (エンジニア)



「坪井選手と宮田選手で異なった変化が出た予選でした。前日までと比べて路面温度が下がったのでタイムアップ。特にセクター 1 で、ほとんどのドライバーがタイムを縮めたのに対して、坪井選手は苦しんでいました。一方、宮田選手はその逆で、タイムアップしました。状況の変化で不思議な結果となってしまいましたが、両レース共にフロントローを確保できたことはよかったです。台風の接近により、スケジュールが変更されるかもしれませんが、確実に準備して決勝に臨みます」

関谷 正徳 (チーム監督)



「宮田は、練習走行からの延長線上でタイムアップしてきた結果、自身 2 回目のポールポジションを獲得することができた。おめでとう。坪井は、前日までの調子を維持することができなかった。それでもセカンドベストタイムで第 8 戦のポールを得たことは評価できる。決勝レースでどれだけアジャストできるかが坪井には求められている。そして宮田は、この調子を勝ちに繋げられるかだ」

2018 全日本 F3 第 8 戦 第 9 戦  
岡山国際サーキット  
2018 年 7 月 28 日(土)

決勝

観客: 未発表 天候: 曇り時々晴れ

2018 年全日本 F3 選手権シリーズ岡山国際サーキットのイベントは、第 7 戦から第 9 戦まで 3 連戦を予定していたが、台風 12 号の接近による影響を考慮。急遽、土曜日のスケジュールを変更するとともに、日曜日のスケジュールを中止(第 9 戦中止)が大会組織委員会から発表された。予選日と同じ土曜日に 2 レースが行われ、第 7 戦を宮田莉朋、第 8 戦を坪井 翔が優勝。両レースで、1-2 フィニッシュを達成した。



- 台風 12 号の接近を考慮して日曜日のスケジュールは中止。第 7 戦の周回数は 25 周から 18 周に短縮された。
- 第 7 戦のスタートで宮田は、ポジションを守り、それに坪井が続いた。序盤に宮田を攻め立てた坪井だったが、宮田は落ち着いてポジションをキープ。第 6 戦に続いて二連勝、F3 で初めてのポール to ウインを飾った。
- 坪井は 2 位ながら、ファステストタイムを叩き出して 1 ポイントを加算してポイントリーダーの意地を見せた。
- 第 8 戦でポールスタートの坪井は、若干出遅れたかに見えたが、宮田を従えて序盤から快調にラップを重ねて差を開き、今季 6 勝目。そして岡山国際サーキットで F3 初優勝を達成した。
- 第 8 戦を終えて坪井 86 ポイント、ランキング 1 位。宮田 58 ポイント、ランキング 2 位。

Driver	Car No.	Round 7 /Fastest Lap	Round 8 /Fastest Lap	Round 9 /Fastest Lap
坪井 翔	36	P2 1:23.404	P1 1:23.294	中 止
宮田 莉朋	37	P1 1:23.414	P2 1:23.386	中 止

天候	曇り/ドライ	曇りときどき 晴れ/ドライ
気温/路面温度	気温 31-32 / 31-32度C	路面 42-43 / 42-41度C

坪井 翔 (36 号車ドライバー)

「前戦の富士で何かリズムがおかしくなってしまうと、第 7 戦のポールも逃してしまいました。スタートもあまり良くなくて宮田選手をパスすることができなかった。ファステストラップを狙って、なんとか取れたというだけで終わってしまいました。第 8 戦はポールからのスタートだし、スタートを失敗しなければ、抜かれないと思っていた。第 7 戦で足りなかったマシンの部分も、自分の走りも修正できて、満足できるレースができました。セットアップを変更して、素晴らしいマシンに仕上げてくれたチームに感謝します。苦手意識はないものの、これまで岡山で勝つことができなかったのですが、ようやく岡山で初優勝することができました。変なリズムが吹っ切れたので、この調子で後半戦も気を引き締めて頑張ります」

宮田 莉朋 (37 号車ドライバー)

「第 7 戦は、開幕戦以来のポールからのスタートでした。開幕戦では、スタートを失敗してしまったので、今回はちゃんとスタートを決めて自分が成長しているところを証明できたかなと思います。スタート直後の 1 コーナーと 1 周目のヘアピンのブレーキングで抜かれないことを注意していました。ファステストラップを、僅か 100 分 1 秒差で奪われたのは残念でした。第 8 戦は、スタートで抜かれないと思っていたのですが、スタート自体はまずまずだったのですが、完全に並ぶまでに至らず、中盤でペースもあげられずに課題が残るレースでした。後半戦は、課題をできるだけ克服して毎戦勝つつもりで臨みます」

吉武 聡 (エンジニア)

「今回、連続で 1-2 フィニッシュできました。宮田選手が初のポール to ウインを決めてくれました。第 6 戦から連勝できたのはよかったですね。坪井選手は、第 7 戦まで思うような走りが出ていなかったのですが、セッティングを変えて、彼もそれに合わせ込んで第 8 戦で勝利に繋がられました。後半戦に向けても、この流れを維持して戦っていきます」

関谷 正徳 (チーム監督)

「まず、連続の 1-2 フィニッシュ達成ができて、チームとしてパフォーマンスを維持できています。宮田は連勝、ポール to ウインで確実に成長しているところを見せてくれました。坪井は、第 7 戦から第 8 戦の間にセットアップとドライビングを切り替えて勝つという、ポイントリーダーらしいレースをしましたね。ここから後半戦に突入しますが、今後も 2 人のドライバーが切磋琢磨して頑張ってくれることを祈ります」

※次戦は、8 月 18-19 日に、栃木県のツインリンクもてぎにて、シリーズ第 10 戦、第 11 戦が開催されます。